



## 医療機器レギュラトリーサイエンス研究会 最終回(第24回) 開催案内

2010年から始めました本研究会は、12年間皆様のご協力をいただいて24回で最終回を迎えました。これまでのご愛顧に厚く御礼申し上げます。

- 開催日時: 2022年 6月 20日 (月) 13:20-16:00
- 開催方法: WEB開催 (Microsoft Teams)  
登録された方には事前に参加 URL と資料をメールにてお送りします。



- 参加登録: **参加費無料**  
申込フォーム <https://forms.office.com/r/NCJdC2vRxa>

13:20-13:30	開会 副会長 廣瀬 志弘 (産総研 研究グループ長) (敬称略)
講演1 13:30-14:10	<p>「医療機器の研究と開発から実用化へ — 過去、現在の動向、未来への展望」  <b>国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 名誉所員 妙中 義之</b>          国立循環器病研究センターでの人工心臓や補助循環装置を実例として、基礎研究と装置の開発研究、企業とともに製品化をして医療従事者に使用してもらい、患者の救命に役立てることができたことなどの経験について、レギュラトリーサイエンスとの関連も含めて話せればと考えています。また、医療機器の研究開発と実用化への支援に関して、医療機器・ヘルスケア領域の現在の動向や未来への展望について、参加者の皆さんに情報提供できればと考えています。</p>
講演2 14:10-14:50	<p>「国内の医療機器開発環境はこの10年で何が変わったか」  <b>東北大学病院 臨床研究推進センター 特任教授 池田 浩治</b>          アカデミア発シーズの開発支援体制を整える橋渡し研究支援推進プログラム、FIH 試験の実施体制を整える臨床研究中核病院整備事業が始まってから今年が10年目にあたります。国内開発環境の活性化を指向して開始したこれらの事業は、どのような効果があったのか。PMDA で医療機器審査を10年間従事し、その後、橋渡し拠点で医療機器開発支援に10年携わった経験を踏まえ、わが国の医療機器開発環境の変化について考察します。</p>
	休憩
講演3 15:00-16:00	<p>「医療機器レギュラトリーサイエンス研究会を終了するにあたって」  <b>産業技術総合研究所 名誉リサーチャー 山根 隆志</b>  <b>神戸大学未来医工学研究開発センター 客員教授</b>          計24回の研究会で先生方から賜った貴重な講和を振り返ります。人工心臓の承認が課題であった初期にレギュラトリーサイエンスがどう機能したかを紹介し、クラス4の機器を対象に実施した数々の評価試験法を振り返ります。</p>
16:00-16:10	閉会 顧問 鎮西 清行 (産総研 副研究部門長)

本会は産総研コンソーシアム「医療機器レギュラトリーサイエンス研究会」として講演会を実施してきました。今回は無料にて実施いたしますのでお誘いあわせの上、ご参加ください。

<b>【コンソーシアム事務局】</b> 国立研究開発法人産業技術総合研究所 健康医工学研究部門 〒305-8566 茨城県つくば市東1-1-1	会長 山根 隆志 (産総研 名誉リサーチャー) 副会長 廣瀬 志弘 (産総研 研究グループ長) URL : <a href="http://rs-seminar.cons.aist.go.jp/">http://rs-seminar.cons.aist.go.jp/</a> E-mail : <a href="mailto:rs-seminar-ml@aist.go.jp">rs-seminar-ml@aist.go.jp</a>
--	--